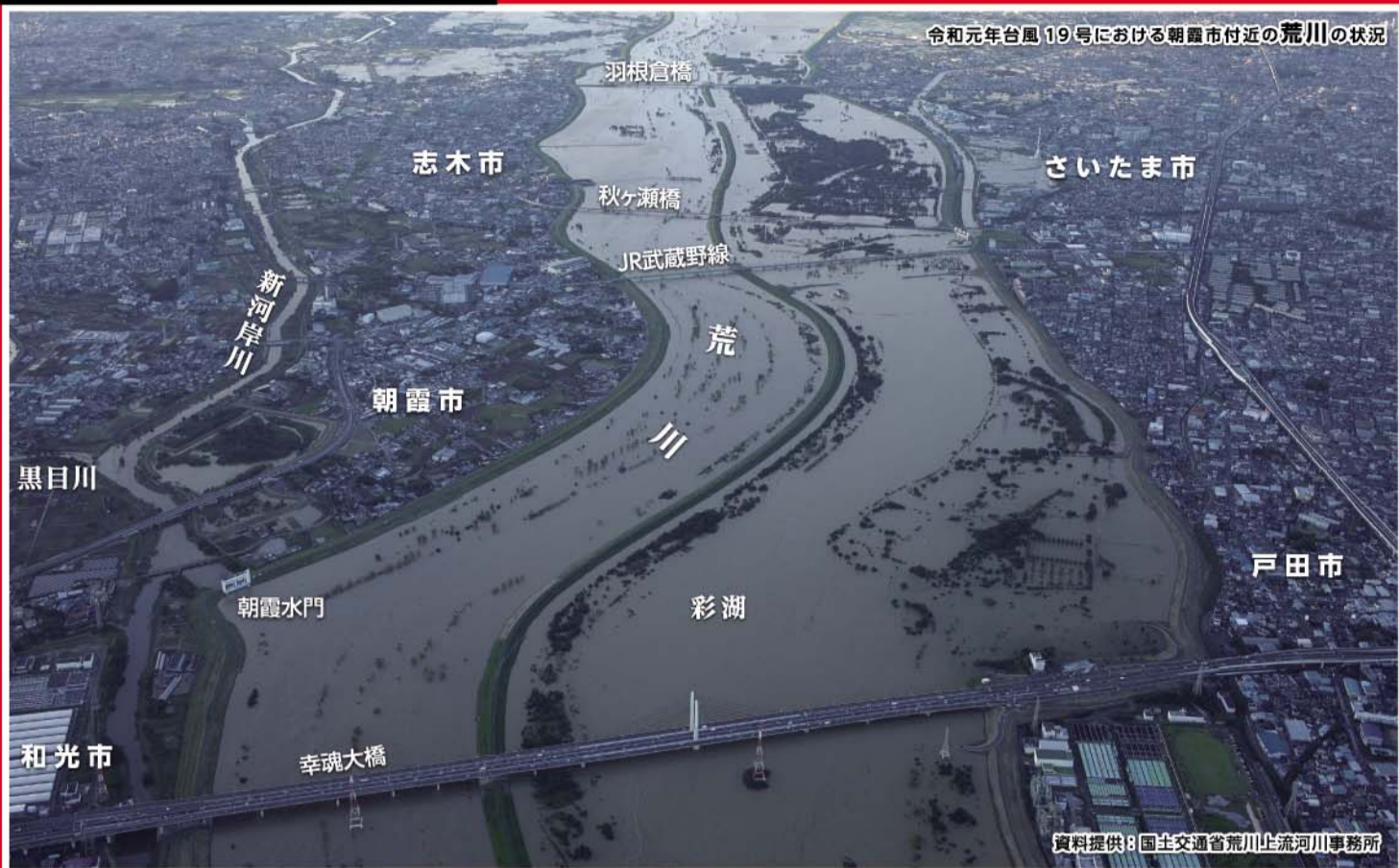


朝霞市水害

保存版

日頃の備えと、いざという時のために

ハザードマップ



わが家の防災メモ

わが家の避難所	わが家の集会所			
名前	血液型	電話番号	会社・学校名	会社・学校の連絡先
家族の連絡先				
その他の連絡先				

朝霞市役所 住所: 〒351-8501 埼玉県朝霞市本町一丁目1番1号
電話: 048-463-1111 (代表)
発行: 令和3年(2021)2月

マイ・タイムライン

記入例: 同時に配布のマイ・タイムライン記入用シート(A4)にこの例を参考に書き込みましょう。

3日前 (台風発生)	2日前	1日前	0時間前
<p>3 高齢者等避難</p> <p>避難先を記入しよう</p> <p>避難開始</p> <p>避難開始</p>	<p>4 避難指示</p> <p>避難先を記入しよう</p> <p>避難開始</p> <p>避難開始</p>	<p>5 緊急安全確保</p> <p>避難先を記入しよう</p> <p>避難開始</p> <p>避難開始</p>	<p>5 緊急安全確保</p> <p>避難先を記入しよう</p> <p>避難開始</p> <p>避難開始</p>

水害について

水害は地震よりも事前予報がしやすいので、比較的対策をたてやすい災害です。起こりうる水害を理解し、発令される情報に的確な判断をしましょう。

想定されている水害

外水氾濫

「外水」とは、堤防の間を流れる河川の水のことをいいます。外水氾濫は、大雨などで河川の水位が増し、堤防の決壊や感流などで大量の水が市街地等に流れ込み、短時間で住宅などへ浸水して人的・物的被害が発生させます。

内水氾濫

河川の水を「外水」と呼ぶのに対し、市街地など堤防で守られた土地にある水のことを「内水」と呼びます。下水道などの排水能力を超える大雨や、河川の水位が上昇すると、マンホールなどから水が溢れて、土地や道路などに浸水することを「内水氾濫」といいます。

アンダーパス部の冠水

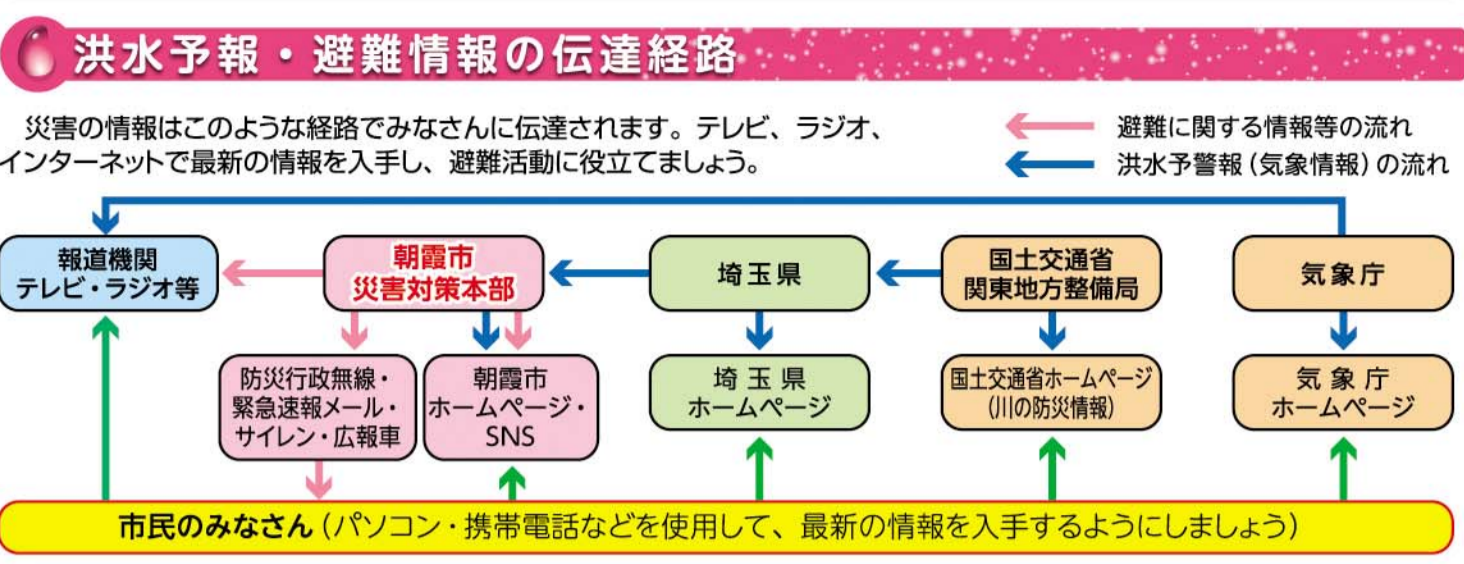
急激な大雨で、ポンプや排水路などの排水能力を超えた場合に、アンダーパス(道路や鉄道などの地下をくぐって抜ける道路で、周囲に比べて地面が低くなっている区間)が冠水することがあります。

雨の降り方と雨量の関係

予報用語	雨量(mm)	イメージ	人の受け	人への影響	屋内	屋外の様子	車の運転
やや強い雨	10~20mm	傘をさして歩く	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声がよく聞き取れない	地面一面に水たまりができる	ワイパーを速くしても見づらい
強い雨	20~30mm	傘をさして歩く	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる	濡れている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間で水膜が生じブレーキ効率がなくなる
激しい雨	30~50mm	傘をさして歩く	バケツをひっくり返したように降る	傘は全く役に立たなくなる	水はがきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険	
非常に激しい雨	50~80mm	傘をさして歩く	滝のように降る(ゴロゴロと降り続く)				
猛烈な雨	80mm以上	傘をさして歩く	息苦しくなるような圧迫感				

気象情報・避難情報

水害から身を守るために、気象情報や避難情報を入手しましょう。気象情報で大雨や台風の予報やゲリラ豪雨などの情報を入手したら、信頼できる情報源から最新の情報を継続して入手し、避難へ備えましょう。



水害時に入手する情報

警戒レベル	危険度	気象情報等	指定河川洪水情報	避難情報等	とるべき行動
5	大雨特別警報		氾濫発生情報	緊急安全確保	●すぐに災害が発生しています。いのちを守るための最善の行動をとりましょう。
4	極めて危険 非常に危険	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報	避難指示	●避難水など、避難が困難になっているおそれがあります。
3	警戒	大雨警報 洪水警報	氾濫警戒情報	高齢者等避難	●高齢者等は速やかに避難を。●浸水想定区域や、河川沿いにいる方も、準備が整い次第、避難してください。
2	注意	大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報		●ハザードマップ等で避難場所や危険な区域を再確認しましょう。
1		早期注意情報			●災害への心構えを高めます。

情報の入手・災害時の連絡方法

災害に対して適切に対応するには、正確な情報の収集が必要です。テレビやラジオなど報道機関のほか、ホームページやSNS、市役所からの呼びかけにも注意して、最新の情報を把握しましょう。

情報の収集方法

市が発信する情報

- 朝霞市公式ホームページ: <https://www.city.asaka.lg.jp>
- 朝霞市公式Twitter: https://twitter.com/asaka_city
- 朝霞市公式Facebook: <https://www.facebook.com/asakacity.koho>

緊急速報メール、エリアメール

防災行政無線

公共機関などが発信する情報

- 気象庁ホームページ: <https://www.jma.go.jp/>
- 国土交通省「川の防災情報」ホームページ: <https://www.river.go.jp/>
- 荒川上流河川事務所: <https://www.ktr.mlit.go.jp/ara/j/>

水害時の避難行動

予想が可能な台風などは事前対策が行えますが、ゲリラ豪雨など突発的な災害では自分たちの判断が重要です。避難情報が発令されていなくても、その場に留まると危険と判断したら、自主的に避難を開始してください。

避難行動判定フローの確認

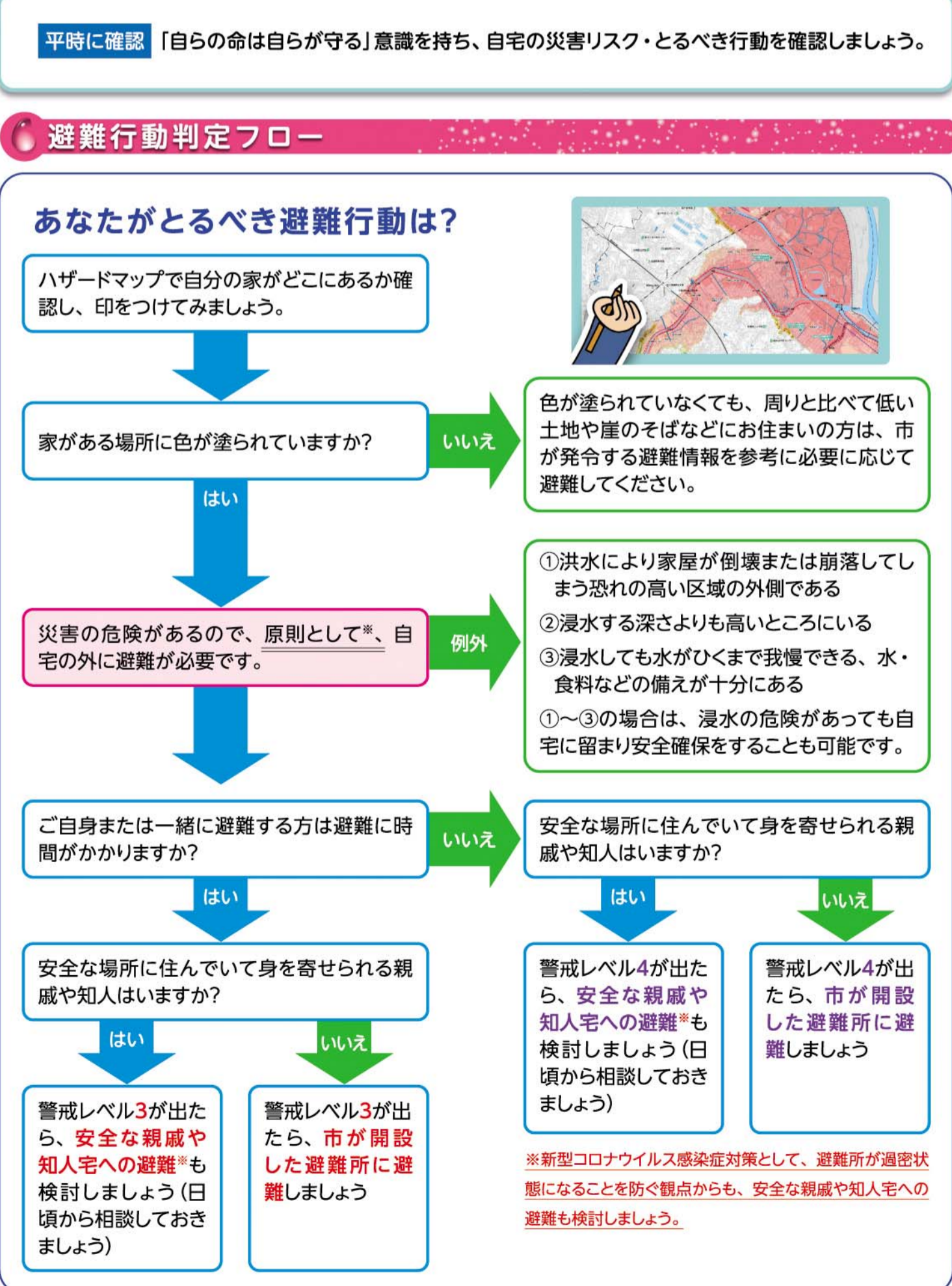
基本は立ち退き避難、次に緊急時の屋内安全確保

マイ・タイムラインで避難の目安を決めておこう

避難する際の注意点

- 正しい情報収集と自主的避難
- 避難の呼びかけに注意
- 水面下の危険にも注意
- 避難の呼びかけに注意
- 避難の前に確認
- 動きやすい服装で、2人以上での避難
- 逃げ遅れたら高い建物に避難
- 車での避難は避け、堤防に車を放置しない

避難行動判定フローの確認



日頃の備え

いのちや財産を守るために、一人ひとり、あるいは家族が協力し、普段から備えておく必要があります。安全性をチェックし、補強や清掃を行っておきましょう。また、ライフラインが止まって3日間程度(推奨7日間)自力で生活できるよう、備蓄しておきましょう。

家屋の防災対策

アンテナや煙突などの補強をする

雨戸のないガラス窓は飛来物の破損から守る工夫を

壁や基礎にひび割れなどが無いかな。腐ったり、シロアリに食われている箇所はないか。

プロパンガスボンベはしっかり固定する

建物の周囲にある風木に飛ばされそうな物を取り込む

ベランダなどの軒や小物を全て取り込む。手すりや壊れているものを修理する

古い戸は、飛ばされないように筋交いをつけたり、つっかい棒をかつがつとしたし、応急の補強をする

浸水の危険がある場合には、大切な家財道具は2階や高い安全な場所に移動する

近所の側溝や雨水が詰まっているかを確認し、清掃する

非常用持ち出し品・備蓄品の準備

大規模災害時に被災地まで救援物資が届くには、おおむね3日かかるといわれています。

非常用持ち出し品は必要最低限のものをリュックサックなどにまとめ、すぐ持ち出せる場所に保管しておきましょう。

備蓄品は、ライフラインが復旧するまで自給自足するのに必要な物です。保存状態や使用(賞限)期間などを定期的に点検・交換しましょう。最低でも3日間(推奨1週間)必要な食料・物資を用意しましょう。

家庭環境に応じて、必要なものを用意しましょう。

- 乳幼児がいる家庭: ミルク、哺乳瓶、離乳食、おむつなど
- 妊婦がいる家庭: 清浄綿、新生児用品、母子手帳など
- 要介護者がいる家庭: 常備薬、手帳、補助具などの予備、障害者カード
- ペットがいる家庭: ケージ、えさ、リードなど

非常用持ち出し品

- 飲料水: 1日1人3リットル×家族 人×3日 = わが家では リットルの水を用意
- 現金(公共電話用10円硬貨)
- マスク、消毒液、体温計
- 上着(スリッパ、靴下など)
- 身分証明書(健康保険証、免許証、パスポートなど)
- 印鑑、レジコンカード
- タオル
- 薬・お薬手帳

備蓄品

- 飲料水
- レトルト食品
- インスタント食品
- かんパン
- 各種医薬品(常備薬も)
- はさみ
- コンセント
- 救急ばんそうこう
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備の電池、バッテリー
- ライター・マッチ
- ローソク
- ロープ

衛生用品

- ウェットティッシュ
- ティッシュ
- 歯磨き用具
- タオル
- マスク
- 消毒液
- 体温計
- タオル

その他

- 上着類
- 防寒着・靴下
- レジャーシート
- スリーパー
- 箱(ホイッスル)
- マーカーペン・筆記具
- 防災ずきん・ヘルメット

◆埼玉県ホームページ「防災」防災マニュアルブック

備蓄方法や災害時のトイレ対策などが紹介されていますので参考にしてください。